

カウンセラーだより

R7. 12月 日野中学校

文責 スクールカウンセラー西

感覚の困り&動作の困り感

集団のなかで、匂いへの困り感が話題に

なっています。人によっては、感覚が過敏だったり弱かったり、ずっとやり続けたり、動作が不器用だったり転びやすかったり、人知れず悩むことはあるようです。(長崎大:岩永研究室資料より)

困り感への対処

匂い、味、音、肌触り、水の感触、痛みなどの関連場面での反応が多いと言われます。

1 まわりの人が、理解をしてあげましょう

2 環境を調整しましょう

我まや甘えのせいではないので・・・

3 社会的に望ましい方向へ行動を促しましょう

『みんな違って みんないい』という思いをみんなが持てるといいですね！

4 そして、自分で状態を理解しておくことも大切です。

上の 2.3 環境調整・行動の促し方の例

- 水に触りつづけるとき・・・皿洗い、水掃除、米とぎをしてもらいましょう。
- いろんな音が耳に入る・・・注意を向けてほしい音を拾うために、
ノイズキャンセリングヘッドフォン、イヤーマフなどがあります。
- 返事がないとき・・・手などにそっと触れたり合図をして気づかせましょう。
- ほか事前に説明する、仕切りを使う、席を後ろにする、まわりへの周知、
衣服のタグ外し、同時に他の刺激を入れて注意をそらすなどの方法があります。

